



日本共産党

市議会議員

船橋ゆき子 活動 No.39

ニュース

6月議会
一般質問③

市職員採用における障がい者雇用促進を

社会参加し自立できる門戸を開くべき

改正障害者雇用促進法の一部が今年4月から施行され、障がい者の法定雇用率が国・地方公共団体等は2・3%から2・5%へ引き上げられています。また、具体的な時期は未定ですが、平成33年4月までにはさらに0・1%の引き上げが予定されています。

これまでの身体・知的障がい者に加え、精神障がい者も障がい者雇用義務の対象者となりました。差別禁止と合理的配慮は法定義務となっています。

私は、蓮田市職員の募集要項に障がい者枠がなく、一般のみであることを指摘し、障がい者に広く職員採用試験の門戸を開くべきとの立場から、市の見解を問いました。

部長は「6月1日現在の雇用率は2・6%の見込み。これまで条件に合致すれば障がいの有無に関わらず受験で

きたが、表記はなかった。平成31年度の採用では『障がい者枠』を設けた受験案内を作成中。『枠』は障がい者も受験できると明確化したものであり、障がい者の採用人数を示すものではない」と答弁しました。

「『障がい者枠』なら採用人数を示して募集を」と重ねて求め、部長は「職員の現状、法定雇用率等総合的に判断し、先進市の事例も参考にしながら十分考えたい」と答弁しました。

【明石市の先進的取組を参考に】

明石市では身体・知的・精神障がいだけではなく、発達障がい者や難病患者にも広く応募を呼びかけています。障がい者の採用試験案内にはルビが振られ、「障がい者の自立と社会参加をもっと進めていくために（中略）市職員として一緒に働いていただける方をできる限り広く募集します」と書かれています。

受験時に必要な個別対応として、点字や拡大文字、音声パソコンによる受験、手話通訳や要約筆記、就労支援機関の職員の同席の希望等を事前に伝えることができます。このような配慮がなければ受験できない障がい者に対し、広く門戸を開く必要な対応です。

他に希望があれば書く欄があり、採用後に必要な配慮も記入できます。障がい者にとって、採用後の不安も軽減される試験案内です。

私は議場配布資料を使って明石市の取り組みを説明し、「自力通勤などの条件をつけないこと」と「受験時の合理的配慮」を求めました。

部長は「これまでも受験時の会場やトイレの配慮など行ってきた。継続して対応したい。今回、明石市職員と情報交換し懇意となったので、引き続きご指導願いたい」と答弁しました。

市は率先して障がい者雇用に関わり、門戸を開くべきです。

市民の皆さんからのご要望を受けて

①「堂山公園近くの線路脇の草が伸びている」という声を受け、現地を確認しました。大きなトゲのあるアザミがあり、車でこすれるくらい草が伸びている箇所がありました。

道路課に草刈りを依頼し、アザミはすぐ道路課職員が刈ってくれましたが、線路わきの草刈りは業者発注で時間がかかってしまいました。現在はきれいになっています。

②「駅前広場の草が伸び放題」との声を受け、駅東口は道路課、西口は西口再開発課に草刈りと樹木剪定の依頼をしました。

東口は蓮田祭り（8/18）前に剪定、西口は6月に剪定したので様子を見ながら、となりました。



東口モニュメント

蓮田の水を知ろう!

蓮田市浄水場で水について学び、
疎開保育園が行われた妙楽寺(高虫)を見学

7月19日、暑い日差しが降り注ぐ中、船橋ゆき子と公共施設(社会科学)見学・第4弾として、蓮田市浄水場と、映画「あの日のオルガン―疎開保育園物語―」の舞台である妙楽寺を訪れました。

浄水場では水がどのようにできるかのビデオを観て、室内から浄水場施設の説明を受けました。

蓮田の水は汲み上げた井戸水(1割)+県から購入している県水(9割)のブレンドです。市の形が細長く、浄水場から遠い家まで消毒の効き目を持続さ



浄水場管理庁舎の隣の建物で水ができるまでのビデオを視聴。



私(左)も冷たい井戸水に触らせてもらいました。



妙楽寺本堂(右奥)と大イチョウの木(左手前)

せるため、他市より塩素濃度を強めに行っている、と説明がありました。

参加した方からは「井戸水を触らせてもらえて、冷たいことを実感した」「普段聞けない話が聞けておもしろかった」などの感想が寄せられました。

妙楽寺では思い思いに境内を散策。市の「保存樹木」にも指定された大きなイチョウの木がありました。疎開保育園児もこのイチョウの下で遊んだかしら...と戦時下の困難な中での、幼児と若い保育士さんの疎開生活に思いをはせました。

私もひとこと

今年の猛暑、言葉通りに猛威を振るった暑さも少し和らいできました。でもまだまだ油断はできません。暑さによって小さな子どもの命が奪われるという悲しい出来事もありました。蓮田市でも昨年やっと小中学校にクーラーが入りました。それでも例年通りの屋外での活動、長時間の部活動など、子どもを送り出す親の心配は尽きません。学校も親も、毎年やっていることだからと油断せず、冷静に慎重に、子どもの命を守る選択をしてほしいです。

(黒浜 三木稚子)

船橋ゆき子の活動(予定)



- 9/3(月) 9月議会本会議質疑
- / 4・7(火・金) 総務委員会
- / 5・10・11(水・月・火) 民生文教委員会傍聴
- / 6・12・13(木・水・木) 建設経済委員会傍聴
- /18-20(火-木) 一般質問
- /27(木) 9月議会閉会日
- /28(金) 法律相談

※党議員団の定例宣伝は毎週木曜朝7:00~8:00
蓮田駅西口か東口で行っています。(雨天時中止)
お気軽にお声掛けください!

「出前」はいかがですか?

「議会のこと聞いてみたい」「日本共産党をちょっと知りたい」など、2人以上でご要望があれば、船橋がご自宅等に出向く「出前議会報告&おしゃべり会」や、「日本共産党を知る集い」を行います。お気軽にご連絡を!

船橋ゆき子連絡先
090-8612-7963
pikoponko@yahoo.co.jp
FAX:048-768-6554

くもはま浴のほろろ

今年は本当に酷暑です。愛知県豊田市の小学1年生の男の子が、校外学習で体調を崩し熱射病で亡くなってしまいました。安全なはずの学校で起きてしまったつらい事実を真剣に受け止めたいと思います。

7月20日、我が家の土の上(炎天下)、高さ50センチ程で気温を測定しました。測定し始めて10分後は37.3℃。気温はぐんぐん上がり、45分後には45℃を超え、HI(ハイ)の表示で測定不能になってしまいました。測定結果はグラフにし、教育委員会に参考資料として渡しました。

「常識」「習慣」にとられない、柔軟な対応が必要ですよ。西日本豪雨被災地でも、国が率先して避難所(体育館)へのクーラー導入などを進めべきです。